

協働評価シート

事業名		外国人支援市内地図（中国語版）作成事業		実施年度	平成21年度
部 局		市民部		課 所	市民活動推進課
団体等の名称		にいはま日本語の会			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特性や立場を合理解したか	団体等	A	団体側の意向を尊重していただき、かなり無理な希望も地図の中に盛り込んでもらった。	
		市	A	「にいはま日本語の会」のネットワークを生かして中国人の意見集約、翻訳を、行政側の公共情報や技術を生かして地図上に中国語表示ができた。	
		相互協議結果		お互いの特性や立場を認識・尊重できた。	
対等	双方が対等に立っていたか	団体等	A	やりとりの時間数は多くはなかったと思いますが、よりよいものを作ろうと対等な立場で協議・実施できたと思います。	
		市	A	メールや協議で意見のやり取りが対等な立場で行えた。	
		相互協議結果		対等な立場で実施できた。	
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	団体等	A	地図の役割を十分に理解した上で作成されたので、こちら側の意向が十分反映されていると思います。	
		市	C	地図に掲載する内容と、地図への希望のみを提案していただくことのみにとどまったり、市が提案することが主で団体側受け身であった。	
		相互協議結果		行政から、自主的活動を引き出す支援が必要であった。	
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	団体等	A	意見が自由に出せ、こちらの希望が十分反映された。団体の意向を十分くみ取っていただき、やりやすかった。	
		市	B	自立化を阻害しなかった。	
		相互協議結果		自発的事業展開にまではつながらなかった。	
目的共有	双方が協働の目的を共有できたか	団体等	A	お互いに十分目的を理解し、事業を実施できたと思います。	
		市	A	お互い目的はきちんと認識できていた。	
		相互協議結果		目的共有ができた。	

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業が実施できたかを評価。	団体等	B	やりとりの時間は少なかったが、メールや協議でいつも互いの情報は共有できた。
			市	B	お互いの進捗状況やその他情報については、メールや協議において共有できた。協議結果も文書にし、再認識できた。
			相互協議結果		ほぼ情報共有ができた。
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかを評価。	団体等	B	国際化関係の会合や、日本語教室に通う生徒達には周知できた。
			市	A	HP等で市民に公開できた。
			相互協議結果		団体等のブログなどでも公開したり、市のHPでも進捗状況を報告すればより知ってもらえた。
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかを評価。	団体等	A	外国語使用の地図の必要性を感じてもらい、その役割の重要性を理解してもらえた。
			市	A	行政のみで作成するより、より中国人にとって必要な情報を地図に掲載でき、効果があった。
			相互協議結果		団体にとっては、中国人が必要とする地図が単体で作成するより安価にでき、行政も多文化共生の内、生活援助ができる。
市民の関心や参画意欲を引き出す事業が展開されたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業が展開されたかを評価。	団体等	B	日本語教室の生徒の声は聞いたが、一般市民の関心は引き出しにくかった。
			市	C	日本語教室に通う中国人や、翻訳してくれた中国人の意見を聞き地図を作成したものであり、一般市民に参画意欲を持たすことは難しかった。
			相互協議結果		今後は、多文化共生の意識啓発事業を展開する中で、在住外国人への関心を高めていきたい。

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	新居浜市に一番多く在住する中国の方たちのために、新居浜市に在住する中国の方が作成した地図ができあがった。初めて外国人によって作られたということがすばらしいと思う。実際、新居浜で生活する上でこんなものがあればいいという思いで作ったので、これから生活する人に大いに役に立つと思う。これからの多文化共生の時代になくはならないものができあがったと思います。
市	「中国人の生活に役立つ市内地図を作成する」という事業の目的は達成され、今後はいはいま日本語の会などの市民団体や行政の窓口でより多くの中国人の新居浜での生活支援ができるよう地図を配布していく。今回、行政側の中国語データを地図上に落とす作業が当初予測していた以上に大幅に時間を要したため、もう少し役割分担について詰める必要があった。
相互協議結果	目的は達成され、もともとあった英語版から改善され、より生活に密着した地図ができた。考え方、感じ方の違う中国人が必要とする情報を地図に表わせた。ただ、事業を始める前に、団体と行政の意識の持ち方をお互いよく認識する必要があった。

